

Japanese Utility Model Registration No. 3021443

Registration Date: November 29, 1995

Title

Replacement room mirror for vehicle

Summary

In a replacement room mirror for vehicle according to the present device, as shown in Fig. 1 and Fig. 2, a spacer 10 having rib portions 9 is fitted in a concave portion 3 so as to avoid a gap between a mirror 6 and a bottom face 8 of the concave portion 3 in a mirror frame 2.

Fig. 11 shows a further embodiment of the present device. In this embodiment, a permanent mirror clipping portion 4, an urging member 5 for urging the clipping portion 4 and the rib portions 9 are attached to a box 14, and the box 14 is attached to a rear face of a mirror frame 15 having the size and shape consistent with the entire rear face of the mirror 6 by means of a screw 16 and the like.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3021443号

(45) 発行日 平成8年(1996)2月20日

(24) 登録日 平成7年(1995)11月29日

(51) Int.Cl.⁶

B 6 0 R 1/04

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

Z

評価書の請求 未請求 請求項の数11 F D (全 12 頁)

(21) 出願番号 実願平7-9044

(22) 出願日 平成7年(1995)8月7日

(73) 実用新案権者 391021226

株式会社カーメイト

東京都新宿区榎町72番地

(72) 考案者 手島 孝男

東京都新宿区榎町72番地 株式会社カーメイト内

(72) 考案者 林田 芳朗

東京都新宿区榎町72番地 株式会社カーメイト内

(72) 考案者 浜野 裕

東京都新宿区榎町72番地 株式会社カーメイト内

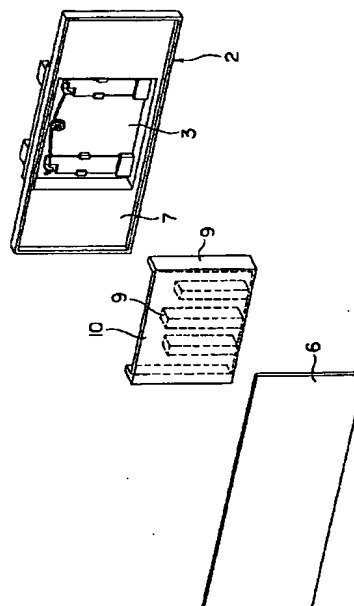
(74) 代理人 弁理士 澤木 誠一 (外1名)

(54) 【考案の名称】 車輛用代替ルームミラー

(57) 【要約】

【課題】 従来の車輛用代替ルームミラーのミラーは割れやすいという欠点があった。本考案の目的は、ミラーが割れる前に常設ルームミラーの脱落機構又は変位機構を作動せしめる車輛用代替ルームミラーを得るにある。

【解決手段】 ミラー枠底部とミラーの間の間隔内にリブ部を有するスペーサを介挿し、ミラーの変形を防ぎ、また衝撃を上記リブ部を介して常設ルームミラーに伝えるようにした車輛用代替ルームミラー。上記ミラー枠の後面に常設ルームミラー取付部を設けた車輛用代替ルームミラー。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 ミラー枠と、このミラー枠によって保持されるミラーと、上記ミラー枠に設けた常設ルームミラー挟持部材とより成り上記ミラー枠がミラーの背面に合致する面を有することを特徴とする車輛用代替ルームミラー。

【請求項2】 上記ミラーとミラー枠間にスペーサが介挿されていることを特徴とする請求項1記載の車輛用代替ルームミラー。

【請求項3】 ミラーが湾曲しており、上記スペーサが上記ミラーの湾曲内面に合致する一面と、上記ミラー枠の面に合致する他面を有することを特徴とする請求項2記載の車輛用代替ルームミラー。

【請求項4】 上記ミラーを保持するミラー枠が、ミラー保持面の一部に上記挟持部材の付勢手段を収容する凹部を有し、上記スペーサが上記凹部を塞ぐことを特徴とする請求項2または3記載の車輛用代替ルームミラー。

【請求項5】 上記スペーサが上記凹部に挿入されるリブを有することを特徴とする請求項4記載の車輛用代替ルームミラー。

【請求項6】 上記ミラーを保持するミラー枠の面が凹部及び凸部を有し上記スペーサが上記凹部を塞ぐ部分と上記凸部に嵌合する穴部分を有することを特徴とする請求項2、3、4または5記載の車輛用代替ルームミラー。

【請求項7】 ミラー枠と、このミラー枠の一面に取り付けたミラーと、他面に取り付けた常設ルームミラー挟持部材と、この挟持部材のカバーとより成ることを特徴とする車輛用代替ルームミラー。

【請求項8】 上記スペーサと上記リブが分離していることを特徴とする請求項5または6記載の車輛用代替ルームミラー。

【請求項9】 上記リブが、縦リブ状、横リブ状、ハニカム状の何れかであることを特徴とする請求項5、6または8記載の車輛用代替ルームミラー。

【請求項10】 上記挟持部材の付勢手段を収容する凹部がその縁に段部を有し、上記スペーサが上記段部に嵌合する硬質なスペーサであることを特徴とする請求項4記載の車輛用代替ルームミラー。

【請求項11】 上記挟持部材の付勢手段を収容する凹部がその縁に段部を有し、上記スペーサが上記段部に嵌合する厚さが大きいスペーサであることを特徴とする請求項4記載の車輛用代替ルームミラー。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の車輛用代替ルームミラーの説明用分解斜視図である。

【図2】 本考案の車輛用代替ルームミラーの組立状態を示す分解斜視図である。

【図3】 本考案の車輛用代替ルームミラーの説明用横断平面図である。

【図4】 本考案の車輛用代替ルームミラーの他の実施例の分解斜視図である。

【図5】 図4に示す車輛用代替ルームミラーの組立状態を示す分解斜視図である。

【図6】 本考案の車輛用代替ルームミラーの更に他の実施例の分解斜視図である。

【図7】 本考案の車輛用代替ルームミラーの更に他の実施例の分解斜視図である。

【図8】 本考案の車輛用代替ルームミラーの更に他の実施例の分解斜視図である。

【図9】 図8に示す車輛用代替ルームミラーの説明用横断平面図である。

【図10】 本考案の車輛用代替ルームミラーの更に他の実施例の説明用横断平面図である。

【図11】 本考案の車輛用代替ルームミラーの更に他の実施例の分解斜視図である。

【図12】 本考案の車輛用代替ルームミラーの更に他の実施例の分解斜視図である。

【図13】 従来の車輛用代替ルームミラーの分解斜視図である。

【図14】 図10に示す車輛用代替ルームミラーの説明用横断平面図である。

【符号の説明】

1 常設ルームミラー

2 ミラー枠

2a ミラー部分

3 凹部

3' 段部

4 常設ルームミラー挟持部

5 付勢部材

6 ミラー

7 ミラー貼付面

7' 凸状部分

8 底面

9 リブ部

10 スペーサ

10' スペーサ

10'' スペーサ

11 穴部

12 スペーサ

13 リブ

14 ボックス

15 ミラー枠

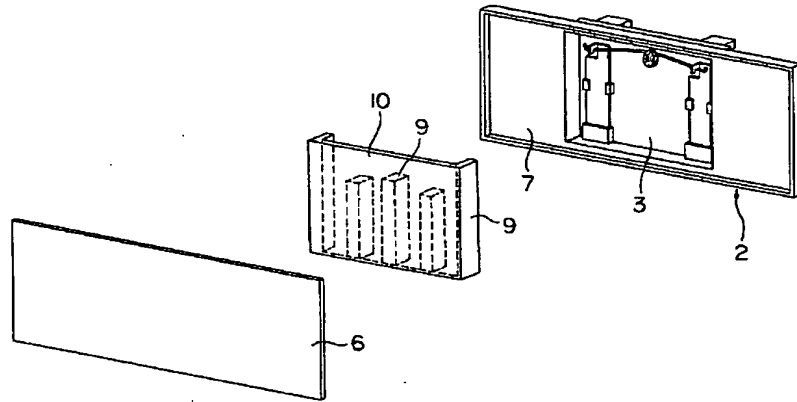
16 ネジ

17 カバー

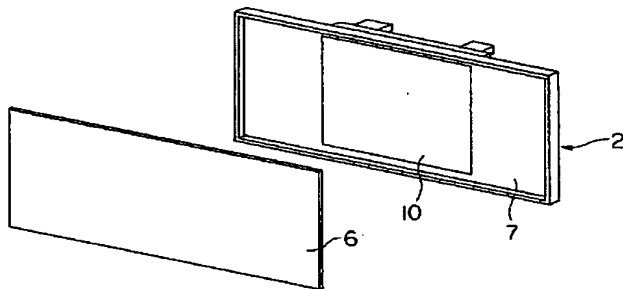
(3)

実登3021443

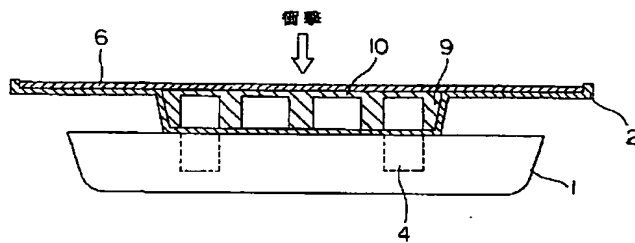
【図1】



【図2】



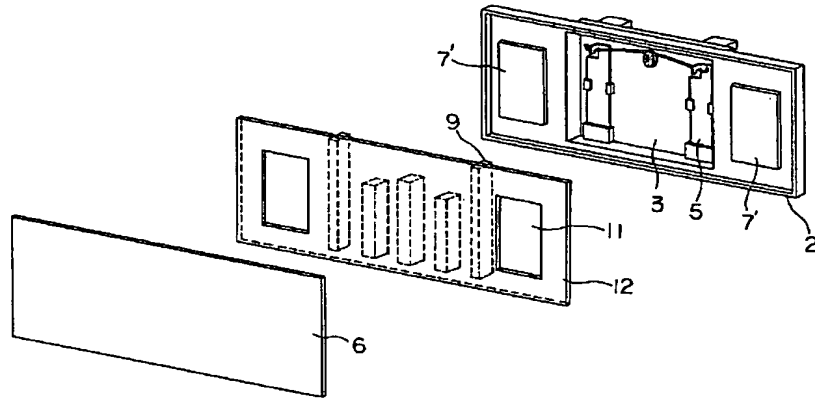
【図3】



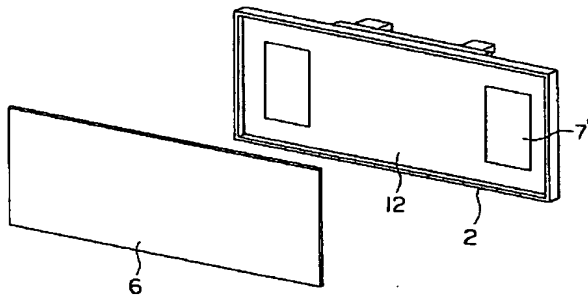
(4)

実登3021443

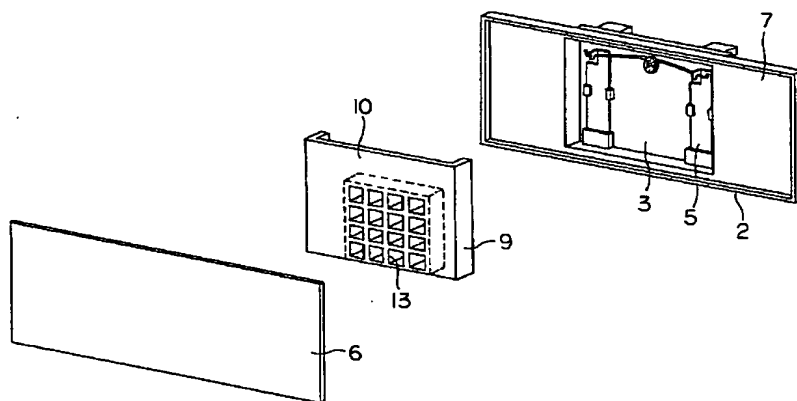
【図4】



【図5】



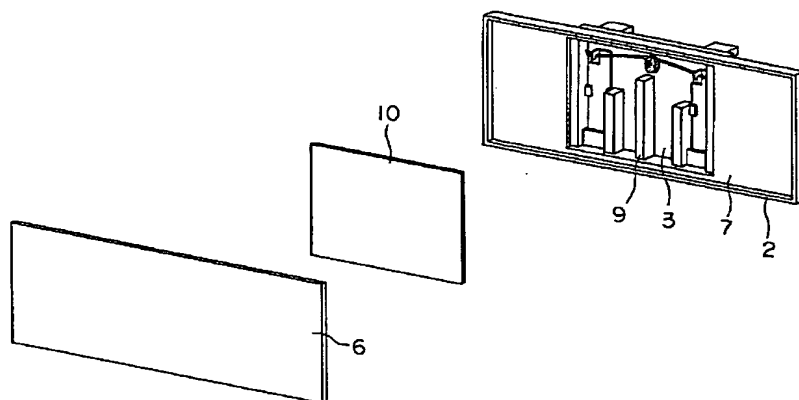
【図6】



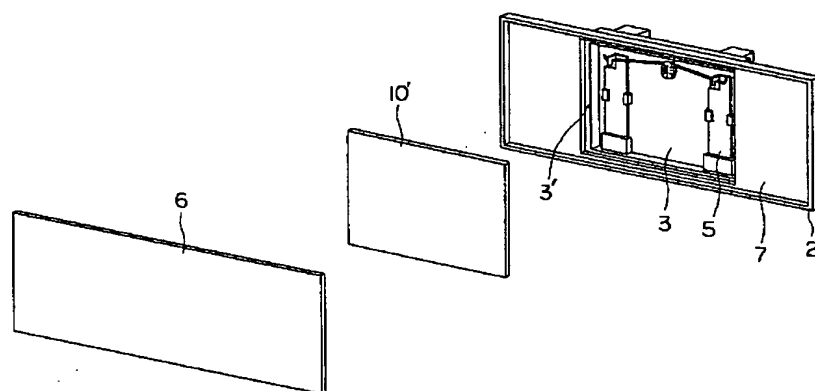
(5)

実登3021443

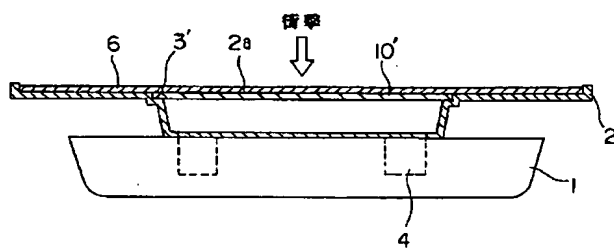
【図7】



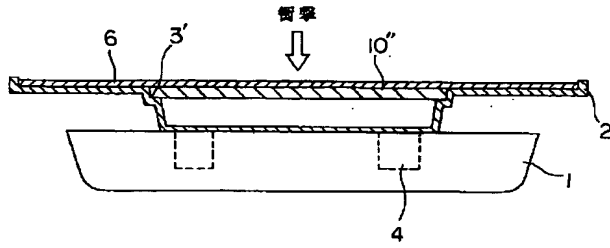
【図8】



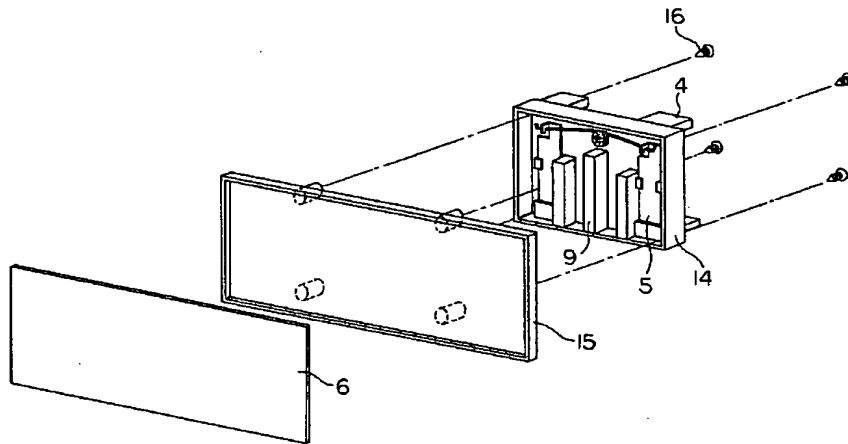
【図9】



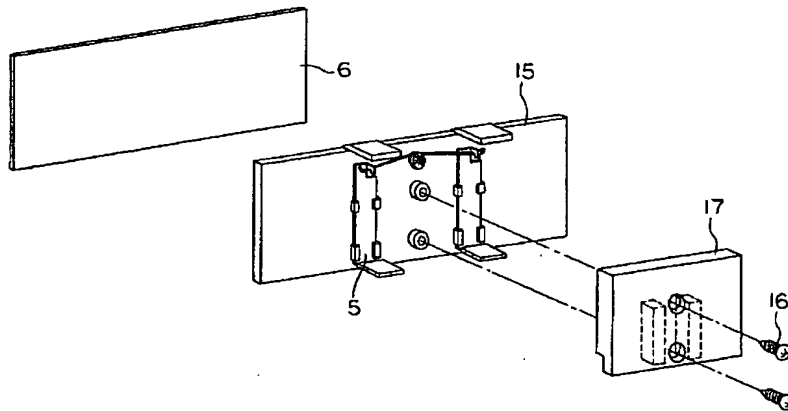
【図10】



【図11】



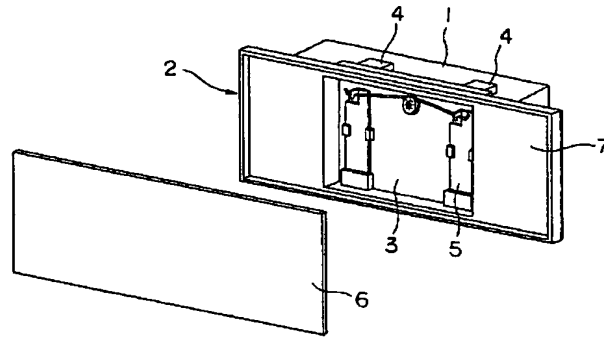
【図12】



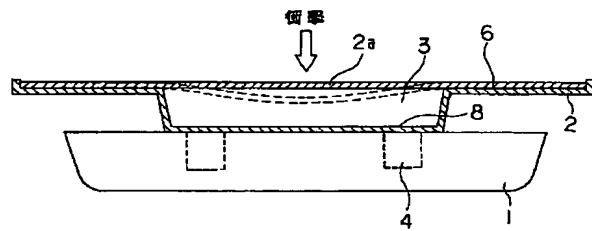
(7)

実登3021443

【図13】



【図14】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【考案の属する技術分野】**

本考案は車輛用代替ルームミラー、特に車輛内に常設されている常設ルームミラーに被せて使用する後付けタイプの代替ルームミラーに関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

図13は従来の車輛用代替ルームミラーを示し、1は車輛内に固定された常設ルームミラー、2は上記常設ルームミラー1の前面に着脱自在に保持される車輛用代替ルームミラーのミラー枠、3は上記ミラー枠2の中央部に形成された凹部、4は上記ミラー枠2の背面に設けられた上記常設ルームミラー1を上下から挾持固定する常設ルームミラー挾持部、5は上記常設ルームミラー挾持部4を常時締め付ける方向に付勢するため上記凹部3内に設けられた付勢部材、6は上記ミラー枠2に嵌め込まれるミラー、7は上記ミラー枠2のミラー貼付面である。

【0003】

上記従来の車輛用代替ルームミラーにおいては、上記付勢部材5を上記凹部3内に組み込み、その上から上記ミラー6を上記ミラー枠2に嵌め込んでいる。

【0004】**【考案が解決しようとする課題】**

然しながら、図14に示すようにミラー6とミラー枠2の中央部の凹部3の底面8との間に間隙が生ずるため、ミラー部分2aの中央部に衝撃が加わると、上記ミラー6がたわみ、常設ルームミラーの脱落機構または変位機構が働く前に上記ミラー6が割れてしまうという欠点があった。

【0005】

本考案は上記の欠点を除くようにしたものである。

【0006】**【課題を解決するための手段】**

本考案の車輛用代替ルームミラーは、ミラー枠と、このミラー枠によって保持されるミラーと、上記ミラー枠に設けた常設ルームミラー挾持部材とより成り上

記ミラー枠がミラーの背面に合致する面を有する。

【0007】

上記ミラーとミラー枠間にスペーサが介挿されている。

【0008】

また、ミラーは湾曲しており、上記スペーサが上記ミラーの湾曲内面に合致する一面と、上記ミラー枠の面に合致する他面を有する。

【0009】

上記ミラーを保持するミラー枠は、ミラー保持面の一部に上記挾持部材の付勢手段を収容する凹部を有し、上記スペーサが上記凹部を塞ぐ。

【0010】

上記スペーサは、上記凹部に挿入されるリブを有する。

【0011】

上記ミラーを保持するミラー枠の面は、凹部及び凸部を有し上記スペーサが上記凹部を塞ぐ部分と上記凸部に嵌合する穴部分を有する。

【0012】

また、本考案の車輛用代替ルームミラーは、ミラー枠と、このミラー枠の一面に取り付けたミラーと、他面に取り付けた常設ルームミラー挾持部材と、この挾持部材のカバーとより成る。

【0013】

また、上記スペーサと上記リブは、分離している。

【0014】

また、上記リブは、縦リブ状、横リブ状、ハニカム状の何れかである。

【0015】

また、上記凹部はその縁に段部を有し、上記スペーサは、この段部に嵌合する硬質の、または厚さが大きいスペーサである。

【0016】

【考案の実施の形態】

以下図面によって本考案の実施例を説明する。

【0017】

本考案の車輛用代替ルームミラーにおいては、図1及び図2に示すようにミラー6とミラー枠2の凹部3の底面8との間に、間隙が生じないように上記凹部3内にリブ部9を有するスペーサ10を嵌合せしめる。

【0018】

本考案においては上記のようにミラー6とミラー枠2の凹部3の底面8間にリブ部9とスペーサ10が介在されるため、図3に示すようにミラー6のミラー部分2aに衝撃が加わっても上記ミラー6が変形を生ずることがなく、また上記衝撃は上記スペーサ10と上記リブ部9を介して常設ルームミラー1に伝わるため上記ミラー6が割れる前に上記常設ルームミラー1の脱落機構又は変位機構を有効に作動せしめることができる。

【0019】

なお、上記リブ部9は縦リブ状の他、横リブ状であってもよい。

【0020】

図4及び図5はミラー枠2のミラー貼付面7の一部に凸状部分7'が形成されている場合の本考案の他の実施例を示し、この実施例においては、上記スペーサ10の代わりに上記ミラー貼付面7の凸状部分7'に嵌合する穴部11を有し、上記ミラー枠2のミラー貼付面7全面に広がる大きさのスペーサ12を用いる。

【0021】

本考案のこの実施例においては、ミラー貼付面7に凹凸のあるミラー枠2であってもスペーサ12を介在せしめることによりミラー6に接する隙間をなくすことができるので、衝撃時のミラー6の変形を防ぐことができる。

【0022】

図6はスペーサ10の裏面に格子状のリブ13を形成せしめた本考案の更なる他の実施例を示す。

【0023】

なお、リブはハニカム状としても良い。

【0024】

図7はリブ部9を上記ミラー枠2の凹部3の底面8に取り付けた本考案の更なる他の実施例を示す。

【0025】

図8及び図9は本考案の更に他の実施例を示し、この実施例においては、リブ部9を用いず、ミラー枠2の凹部3の縁部分に段部3'を設け、この段部3'に硬質の平板スペーサ10'を嵌合せしめる。

【0026】

本考案のこの実施例においては、硬質のスペーサ10'を用いるので図9に示すようにミラー部分2aに衝撃が加わってもスペーサ10'によって受けられ上記ミラー6が変形を生ずることがなく、また上記衝撃は上記スペーサ10'と上記段部3'を介して常設ルームミラー1に伝わるため上記ミラー6が割れる前に上記常設ルームミラー1の脱落機構又は変位機構を有効に作動せしめることができる。

【0027】

なお、図10に示すように上記硬質のスペーサ10'を用いる代わりに肉厚のスペーサ10''を用いても良い。

【0028】

図11は本考案の更に他の実施例を示し、この実施例においては、常設ルームミラー挾持部4とその付勢部材5及びリブ部9をボックス14に取り付け、このボックス14を上記ミラー6の裏面全面に合致する大きさ及び形状のミラー枠15の後面にネジ16等により取り付ける。

【0029】

この実施例においては常設ルームミラー挾持部4とその付勢部材5をミラー枠15の後面に組み込んでいるため、上記ミラー6を上記ミラー枠15のミラー貼付面7に貼付する際スペーサ10や12を省略せしめることもできる。

【0030】

なお、図12は図11に示す実施例において、ミラー挾持部4及びその付勢部材5を上記ボックス14内に設ける代わりに上記ミラー枠15の後面に取り付け、これらをカバー17により覆いネジ16により取り付けるようにしてもよい。

【0031】

また、上記各実施例においてミラー6が湾曲している場合には、上記スペーサ

10, 12または上記ミラー枠2, 15を湾曲せしめることもできる。

【0032】

【考案の効果】

本考案の車輛用代替ルームミラーによれば、ミラーに衝撃が加わってもミラーが割れることなく常設ルームミラーごと脱落又は変位するため安全性が高まり、また、常設ルームミラー取付部をミラー枠後面に組み込むことにより、車輛用代替ルームミラーのデザインの自由度が高まり、常設ルームミラー取付部の共通化も図れるという大きな利益がある。